

2022年度
保育者研修



気になる子

に見えてしまう

こどもの見方



友達に上手に
伝えることができない



感情のコントロール
が難しい



すぐに
手が出てしまう

こどもの見え方が変わる！新しい視点の「気になる子への対応研修」

●メッセージ

はじめまして。僕は「親と子のメンタルヘルス研究所」で「メンタル不調を抱えて子育てをしている保護者の方」や「行動面で気になる点が多いこどもたち」の「認知行動療法」を行っています 岸本 元気と申します。

保育現場では「こどもたちの気になる行動」が日常的に起こっていると思いますが、そのことからすぐに「**発達面に問題があるのでは？**」そう思っていないですか？
実は「セラピー」の場面では、「**発達面の問題**」を疑う前に、もう一つ「**ことばがけ**」を使い確認していることがあるのです。それが今回お話しする「**脳のこどもルール**」です。



「脳のこどもルール」を活かして「**行動を改善する**」3つのヒントをお話したいと思います。

親と子のメンタルヘルス研究所

... Oya To Ko Kokoro ...

■今回の研修テーマは、



「脳」の「こどもルール」について

保育の場面で、みなさんは、こんな「困りごと」ないですか？



1度かんしゃくを起こすと収まるまでに時間がかかる



気持ちの切り替えができず次の行動に移れない



わかったとは言うけど全然わかっていない

こうした場面では「発達面に何か問題があるのでは？」と考えてしまいがちですが、実は、これはこども特有の「脳」の「こどもルール」が関係しています。「脳」が行動を起こす際には、実は明確な「行動ルール」が存在します。それは、大人とこどもでは異なるものです。

「大人のルール」	「こどものルール」
行動のルールは、 「良い」か「悪い」か 「得」か「損」か	行動のルール 「快」か「不快」か 「楽しい」か「楽しくない」か

今回の研修では、「こどもルール」を活かして「行動を改善する」3本のお話をお届けいたします。

オンラインではありますが、みなさんとお会いできる日を楽しみにしています！